

お知らせ

令和8年度 かかりつけ医等心の健康対応力向上研修実施要領

【令和8年度 かかりつけ医等心の健康対応力向上研修の案内】

山本クリニック、浦添市医師会 山本和儀

子ども・若者のこころの健康が危ない！ 沖縄県では2040年までに男女ともに平均寿命日本一の復活を目指して、様々な事業を展開しています。沖縄県医師会は県健康長寿課からの委託を受けて、次世代の健康づくり推進事業、健康教育副読本の作成と普及に取り組み、こころの健康教育副読本「こころのタネ」を活用して、ストレスマネジメント教育、こころの健康教育、自殺予防に取り組んでいるところですが、依然として、児童・思春期の死因の1～2位を自殺・不慮の事故死が占めています。そして一時期400人台に達した沖縄県での自殺者数が、最近では200人台まで低下しているものの、沖縄県においても全国と同様、小・中・高校生の自殺者が増えており、不登校、孤立、家庭問題、SNSの影響を背景にした子ども・若者のこころの健康障害・自殺予防が心療内科・精神科医のみならず、小児科・内科医やかかりつけ医にとって、重要な課題の一つとなっています。今回の研修では、沖縄県内でこの問題に長年取り組んでこられた城間直秀先生と、早い時期から児童思春期のうつ・自殺・メンタルヘルスに取り組んでこられた北海道大学名誉教授の傳田健三先生を講師に迎え、実施されることになっています。多くの医師の参加と日々の医療現場での実践、平均寿命日本一の復活への貢献を期待しています。

1 目 的

本県における自殺者数は、平成24年に300人を下回り、減少傾向で経過していたが、令和3年以降増加に転じた。令和5年以降は減少傾向にあるが、令和7年の自殺者数は207人と未だ深刻な状況が続いている。本県では若年層の死因に占める自殺の割合は高く、若年層の自殺対策が課題であり、死亡者数に占める若年層における自殺の割合は、10代から30代において、高い傾向にある。そのような中、医療現場では、精神科に限らず多くの診療科で若年層患者の抑うつや自殺リスク評価が重要となる。本研修では、地域医療に従事する医師等が、若年層や思春期のメンタルヘルスに関する理解を深め、適切なリスク評価や対応について学ぶことを目的とし、開催する。

2 主 催 県立総合精神保健福祉センター

3 共 催 沖縄県医師会

4 場 所 沖縄県医師会館ホール（※オンライン併用予定）

5 対 象 内科医、小児科医等一般科かかりつけ医及び精神科、研修医等

6 日 時 令和8年11月6日（金）18：30～21：00（受付開始 会場 18：00／オンライン 18：20）

7 研修内容

第1部 座 長 泊こざくらクリニック 院長 島袋 盛洋 氏

○県内臨床状況紹介

演 題 「県内における子どものこころ診療の現状と課題」

講 師 医療法人愛燦会 おおきた子どもクリニック 院長 城間 直秀 氏

・日本医師会生涯教育講座 0.5単位 CC：12 地域医療

第2部 座 長 山本クリニック 院長 山本 和儀 氏

○講 演 「児童思春期のメンタルヘルス ― うつに気づき、自殺を予防する ―」

講 師 特定医療法人 社団 慈藻会 平松記念病院 理事長・院長 傳田 健三 氏

・日本医師会生涯教育講座 1.5単位 CC：70 気分の障害（うつ）

8 定 員 会場参加 100名程度（オンライン接続上限200名程度）

9 参 加 費 無料

10 申込方法 下記フォームより申込み／期限：令和8年10月19日（月）※定員に達し次第〆切

医師専用フォーム

<https://ourl.jp/aM94j>



その他職種用フォーム

<https://ourl.jp/NWujj>



11 問合せ先 県立総合精神保健福祉センター 相談指導班 國場・浜川・町田
TEL 098-888-1443 FAX 098-888-1710